

子どもの安全対策は十分か

危機管理統括官のパトロールや各団体と連携し対策している



児玉 孝徳 議員

神奈川県川崎市で20人殺傷事件が起きた。第二、第三の事件が起きる可能性がある世の中だが、本町の子どもの登下校時での安全対策はどうか。
また最近、虐待の事案が後を絶たないが、その対策は十分か。

安全対策の指導を徹底し各団体と情報を共有している

教育長

不審者対応訓練、登校指導や通学路の危険箇所点検、集団下校訓練を実施し、各団体と連携して、対処法を体験的に学ばせている。

警察署及び、警察OBの危機管理統括官によるパトロールを強化し注意喚起を行っている。

子どもたちには「行かない、乗らない、大声を出す、すぐ逃げる、知らせる」を守る指導を継続的に行っている。



登下校時見守り活動

虐待については、子どもや保護者が孤独を感じないように信頼関係を築く指導をし、自己防衛力を身につけさせ、警察や児童相談所、町・県福祉課とも情報共有する体制を整えている。

乗合い型デマンドタクシーの検討は進んでいるのか

児玉議員

高齢者の運転ミスにより子どもたちが巻き込まれる事故が多発しているが、免許返納した後は移動手段の確保が必要となる。予約して家の前まで来てくれる低料金の乗合い型デマンドタクシーの検討は進んでいるのか。

早い段階で取り組む

町長

先進自治体の情報収集を行っている段階であり、導入の形態の検討を進め最善の方策を早い段階で取り組んでいく。

防犯カメラの増設はできないか

児玉議員

安全なまちづくりのために防犯カメラが有効だと考えるが、設置戸数を増やせないか。

また、不法投棄を防ぐ面から犯カメラを設置したら助成がでないか。

増設を前向きに検討しつつ

町長

現在、大崎中学校や道の駅などに10台の防犯カメラを設置している。ドライブレコーダー付

きの公用車が2台あるが、後10台増やして、動く防犯カメラとして活用していく。悲惨な事件や事故が多発しているため、今後、抑止策として防犯カメラ増設を前向きに検討していく。

設置の助成は課題が多いと思われるが、今後勉強していく。

職員が安全パトロールを行う事は出来ないか

児玉議員

兵庫県小野市のように、町の臨時職員などが安全パトロールを行うことで、事件・事故の防止や、不法投棄の回収も行うことができる。また町民の要望を聞き、動く町役場として信頼される存在になると思うがどうか。

警察官OBを採用し取り組んでいく

町長

鹿児島警察官OB1名を危機管理統括職員として、安全・安心なまちづくりを行うため、各学校や関係団体と一体となり、公用車で防犯パトロールを実施している。小野市の取り組みは町政運営の参考にしていく。

菱田中跡地の進捗状況は

児玉議員

町長はジャパンアスリートセ

ンター大隅の運用開始で、菱田地区が賑わうと説明されているが、菱田中跡地の合宿所の進捗状況と課題はないか。



合宿所の整備が予定されている菱田中跡地

9月までには仕様を協議する

町長

株式会社OTCと協議を行い、トレーニングセンターの利用状況を確認しながら、9月頃までには、ターゲット層、規模やグレード等について協議を進めていく予定である。トレーニングセンターはテレビや新聞等で報道され大きな成果が上がっている。トレーニングセンターの前に合宿所があることが最善であり利点は十分生かし、賑わいを感じるようにしていく。